［吉敷ふれあい標語 2016］　ありがとう　感謝の気持ちが　地域の輪

吉敷の木
「もみじ」

吉敷の花木
「うめ」

吉敷の草花
「マリーゴールド」

吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだより よしき

FURUSATO DAYORI　YOSHIKI

2016
5
No. 722

吉敷川沿いの桜並木を歩く
吉敷ウォーク

春の山菜を持ち寄って
山菜料理試食会

春の自然に目を向けて

CONTENTS

【トピックス❶】
地域防災への取り組みが始まっています…… 2

【トピックス❷】
「吉敷さんぽ」をウェブサイトに掲載しました…… 3

今月の吉敷人…… 3

インフォメーション…… 4,5

【シリーズ地名❶】
「吉敷」の由来…… 5

レポート…… 6

【シリーズ偉人❶】
成瀬仁蔵の真価ここにあり…… 7

【よしきで輝く】
ヨガ体操…… 8

かけはし…… 8

YOSHIKI DATA

【人口】14,822（前月比 −43）　【世帯数】6,069（前月比 +8）

平成28年4月1日現在

TOPICS トピックス 1

地域防災への取り組みが始まっています

地域づくり協議会では、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域課題に「自主防災組織づくり」を位置づけ、「自主防災特別委員会」を設置して、有識者などにより協議・検討してきました。

地域の関係団体の参画により「防災検討委員会」を設立

こうした中で、平成27年10月15日には、自治会や社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会をはじめ、小学校や中学校など多くの関係機関の参画を得て、今後の防災組織の設置促進などを担う「吉敷地区防災検討委員会」を設立しました。

委員長には、自主防災特別委員会から引き続き、土肥俊峯氏（上東自治会）が就任されました。

防災に関する実動組織として「吉敷地区防災会」を設置

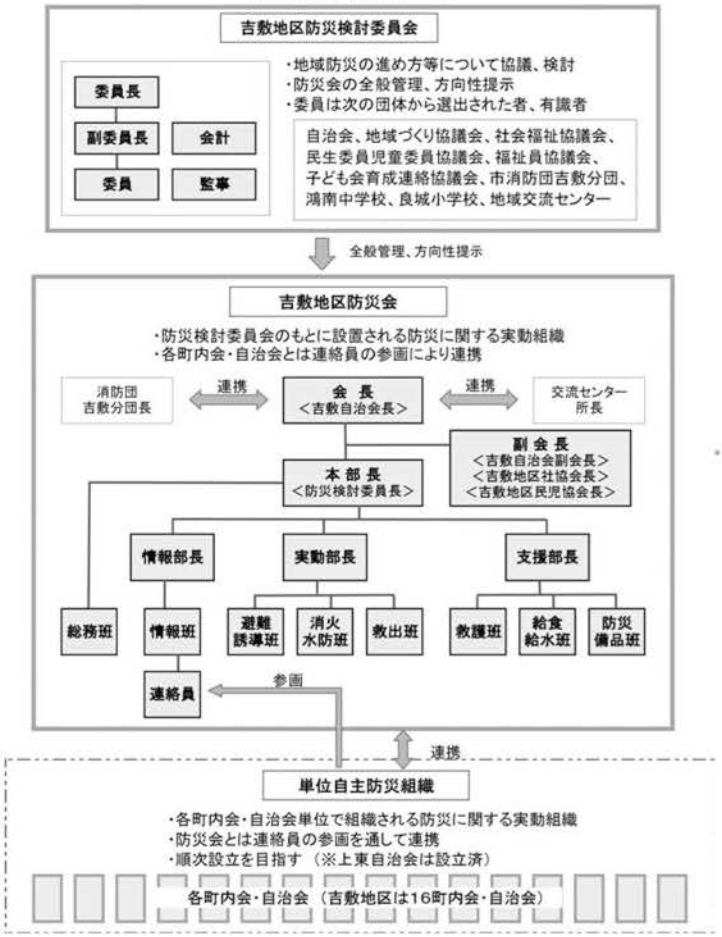
その後、12月17日には、防災検討委員会のもとに「吉敷地区防災会」が設置され、地区住民の近隣協同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、風水害や地震などの災害から、被害の予防や軽減を図ることを目的に活動していくことが確認されました。

各町内会・自治会から連絡員を選出

また、地区防災会との連絡・調整等に携わる「連絡員」を、各町内会・自治会から選出していただくこととしました。

今後は、防災検討委員会や地区防災会、単位自主防災組織が一体となって、地域防災活動を進めていきます。

地域防災の組織イメージ



各町内会・自治会単位の自主防災組織の設立に向けて

災害時に必要な支援には、「自助・共助・公助」があり、中でも住民自身が協力して自分たちの身を守る「共助」が防災の要といえます。一刻の予断も許さない状況では、自分たちで自らの身を守り、隣近所で協力して被害にあった人たちを救助・救援しなければなりません。そのためには、各町内会・自治会単位で組織される自主防災組織の役割が大切になります。

今後、これらの立ち上げに向けた取り組みを進めていきます。

先進地視察を行いました

平成28年3月11日、防災検討委員会及び地区防災会の主催で、各町内会・自治会や連絡員の参加により、周防大島町の自主防災組織などを視察しました。

周防大島町は、海と山に囲まれているため、地域住民の防災意識が非常に高く、多くの地区で自主防災組織が設立されているとのことでした。

質疑応答の中では、「自主防災組織の目的や役割を考え、協議ばかりしていては、いつまでたっても組織化はできない。まずは組織を立ち上げて、それから具体的な活動内容などをしっかり話し合えばいいのでは」といったアドバイスをいただきました。

※詳細はウェブサイトに掲載

県大島防災センターでの視察の様子

TOPICS トピックス 2

地域散策ガイドブック「吉敷さんぽ」をウエブサイトに掲載しました

地域づくり協議会の「ふるさと文化振興委員会」では、良城小学校などの協力を得て、地域散策のガイドブック「吉敷さんぽ」の作成に取り組んでいます。

これは、私たちの暮らす吉敷地区を再認識・再発見していただくことを目的としたもので、三つの章から成り立っています。

この度、第一章の「パッと見る・ザッと知る」の取りまとめを行い、ウェブサイトに掲載しましたので、ぜひご覧ください。

良城小の児童から寄せられた「吉敷のお宝」をベースに編集

第一章は、良城小学校の児童の皆さんから夏休みの宿題として寄せられた吉敷地区の文化情報「吉敷のお宝」をベースにしています。

全児童から1200件におよぶお宝の応募があり、吉敷の文化を幅広く紹介しています。

内容も、写真中心のビジュアルなものにしており、随所に子どもたちの推薦の声を吹き出しで紹介しています。

地域の皆様のご意見をお待ちしています

第一章のウェブサイトへの掲載にあたり、文化関係機関や団体等のご意見を伺ってきました。

しかしながら、なお、大切な事項を見落としたり、説明が的確でないものがあるのではないかと危惧しています。

地域の皆様のご意見を8月末までにお寄せいただければ幸いです。

※ガイドブック（第一章）は、地域交流センターにも置いています。

目　次

Ⅰ章 パッと見る・ザッと知る
1 吉敷の自然
2 四季の風景
3 維新百年記念公園
4 吉敷の古墳
5 大内氏と吉敷
6 毛利氏と吉敷
7 吉敷の人物伝
8 文化の継承
9 伝説・風習
10 お寺・お宮めぐり
11 庭園めぐり
12 通り・憩いの空間
13 地域とのふれあい

Ⅱ章　もっと知る
Ⅲ章　調べる

※Ⅱ章、Ⅲ章の項目は暗しています。

吉敷地区地域づくり協議会　検索

今月の吉敷人（よしきびと）

【町内会長編】

〈インタビューの内容〉

1. 町内の紹介と特徴
2. 町内の今昔
3. 今後の展望

No.001

吉敷畑（24世帯）

杉本（すぎもと） 清照（きよてる） さん

吉敷在住 45年
会長歴1年（任期2年）

1. 西鳳翩山の裾野、吉敷地区では最も標高が高く、豊かな自然に恵まれ、国道435号線が地区の中央を走り、両側に棚田があるなど、昔ながらの田園風景が広がります。
2. 地区の長老の方の意見を中心に、色々なことを話し合って決めています。昔（昭和初期）は、今の3倍くらいの人がいましたが、今では年々減っていく一方です。
3. 地区の自然や人柄を生かした地域づくりを心掛けています。

【取材後記】

本業のパセリ栽培は、吉敷畑の気候に合っていることを自らが思いつき、今もそれを生きがいに頑張っている姿に、吉敷畑の気風と人柄を感じました。

（広報委員：植野）

No.002

中尾西（79世帯）

大谷（おおたに） 二郎（にろう） さん

吉敷在住 18年
会長歴1年（任期2年）

1. 吉敷地区の北部に位置し、中尾口バス停の南西側と、バス停から北東側の地蔵峠につながる道のふもとが地区の範囲です。自然たっぷりの地区です。
2. 18年前に他地区から中尾西へ来ましたが、その頃は各世帯に若い方が同居されていたように思います。今は、他地区に出ておられるようです。
3. 難しいことだけど、若い人が実家に帰ったとき、何か興味を持ってもらえることのある地区にしたいです。

【取材後記】

会長就任時には、初めてのことばかりで大変だったようですが、18年住んでおられる地区のためと一肌脱がれ、お引き受けになった勇気あるご決断には感服しました。

（広報委員：植野）

インフォメーション

母子相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関することなど、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて気軽にお越しください。なお、お越しの際には、母子健康手帳をお持ちください。

【とき】5月11日(水)13時30分～14時30分(受付時間)
【場所】地域交流センター 和室
【問い合わせ】市保健センター
☎083-921-2666

春の花壇講座

春・夏の色鮮やかな草花で、ご自宅の庭やベランダを彩りませんか?
初めての方でも安心!花壇づくりの基本を分かりやすく学べます。

【とき】5月19日(木)19時～20時頃
【場所】地域交流センター 視聴覚室
【講師】吹上 笑美 氏
(株式会社 多々良造園)
【募集】花壇づくりに興味のある方20名
【参加費】無料
【申込・問い合わせ】地域交流センター
☎083-922-3915

東鳳翩ふれあいウォーク

子ども会と地域づくり協議会が開催する「東鳳翩ふれあいウォーク」に参加しませんか?一緒に往復約16キロの道のりを歩き、子どもと大人、世代を越えた交流を楽しみましょう!年齢制限等はありませんので、興味のある方は、まずはお問い合わせください。

※当日は、地蔵峠に簡易トイレを設置します。
【とき】5月15日(日)8時～15時頃
【集合場所】赤田神社(8時まで)
【準備】ウォーキングに適した服装、弁当、飲み物、おやつ等
【申込・問い合わせ】地域交流センター
☎083-922-3915
※申込期限:5月11日(水)17時まで

昨年の様子

男性料理教室

料理上手な方も初心者の方も、得意料理を増やしてみませんか?

【とき】5月20日(金)10時～12時頃
【場所】地域交流センター 調理実習室
【講師】吉敷地区食生活改善推進員
【対象】男性の方 16名(初心者歓迎)
【参加費】300円
【準備】エプロン、三角巾
【申込】地域交流センター
☎083-922-3915

昨年の様子

訂正

ふるさとだよりよしき4月号に掲載しました「平成28年度地区行事の予定」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【訂正前】8月3日(土)夏まつり
【訂正後】8月13日(土)夏まつり

チャレンジデー同時開催!
チャレンジデーin吉敷
～リズムに合わせて健康づくり～

【開催日時】5月25日(水)
午前の部 8:30～ 8:45
午後の部16:30～16:45
【場所】
地域交流センター 講堂
【問い合わせ】
地域交流センター
☎083-922-3915
お気軽にご参加ください!
参加賞もあります♪

チャレンジデー 5月25日(水)

参加方法は15分以上運動をして報告するだけ!

【報告方法】
① 氏名・団体名等
② 参加人数
③ 運動の種類
この3点を集計センターに報告
☎ :0800-200-2776(無料・当日のみ)
または083-934-2912
FAX:083-934-2670/083-934-2665
メール:challengeday@city.yamaguchi.lg.jp

〈2016年〉
山口市 VS 神奈川県座間市
【過去の結果】
〈2013年〉
●山口市 VS 千葉県市原市○
〈2014年〉
●山口市 VS 山形県鶴岡市○
〈2015年〉
○山口市 VS 秋田県秋田市●

5月の予定

8日(日)	吉敷川、桜の樹広場 河川清掃
11日(水)	母子相談
13日(金)	地域づくり・自治会・社協 総会
15日(日)	東鳳翩ふれあいウォーク
18日(水)	伝統文化吉敷いけばなこども教室
19日(木)	ふれあい給食 春の花壇講座
20日(金)	男性料理教室 つどいの広場「楽楽楽」講座
22日(日)	グラウンドゴルフ大会
23日(月)	子育て講座

6月の予定

15日(水)	伝統文化吉敷いけばなこども教室
18日(土)	父の日プレゼントづくり
19日(日)	ソフトバレーボール大会
25日(土)	七夕かざりづくり

つどいの広場「楽楽楽」講座「ママの3B体操♪」

3B体操の用具を使い、音楽に合わせてストレッチや骨盤矯正をしながら、心と身体をリフレッシュさせませんか?

【とき】5月20日(金)10時～11時30分
【場所】地域交流センター 講堂(託児：会議室)
【講師】菊池 加奈子 先生
【対象】未就園児をもつ子育て中の親子10組
【託児】有(要申込み)
【参加費】一組500円(託児代込み)
【準備】飲み物、タオル、動きやすい服装
【主催・申込】つどいの広場「楽楽楽」
☎083-928-0035

子育て講座(ベビーマッサージ)

赤ちゃんをやさしくなでることで、夜泣き・便秘・ぐずりなどの改善に効果があるとされています。赤ちゃんとのコミュニケーションにもなり、お母さん自身も癒されますよ。

【とき】5月23日(月)10時～11時30分
【場所】地域交流センター 和室
【講師】澤野 佑希 氏(佐畑在住)
【対象】寝返り前の赤ちゃんと保護者15組
【準備】バスタオル、飲み物
【参加費】無料
【申込】地域交流センター
☎083-922-3915

シリーズ 地名 PLACE NAME I

「吉敷」の由来

この地で稲作農業が始まった年代は明らかではないが、弥生期に入るとその普及によって、人々は土地に定着するようになったと考えられる。

やがてそれが「ムラ」へと発展していくのである。これらの「ムラ」があちこちにできると、これを区分する必要が起こってきた。全国的に最初のものが「大化の改新(六四五)」である。

この時、周防の国に国府が置かれ、その下に郡が配置された中に、それまで与支岐(よしき)国といわれたものが、「吉敷郡」と改められた。

この吉敷郡(現在の大内から嘉川の範囲で10の郷がある)の郡役所(郡政の中心)が置かれたところが吉木本郷(吉敷本郷)で、現在のわが吉敷である。

この「吉敷」の地名は、「続日本紀(七三〇)」や平安期の「和名鈔」等にも出てくる。

鎌倉時代(一一九二)に入り、地方の豪族が台頭し、荘園ができ始めると、この地域は、大内氏の一族問田氏が領有し、吉敷川をはさんで、吉敷東庄、吉敷西庄(合わせて「吉敷庄」)という荘園となった。

その後、陶氏の領有に入ると吉敷庄は、吉木保と呼ばれたが、大内氏が滅び毛利氏が支配すると、吉木保は、東の部分(東庄)は宮野の常栄寺に、西の部分(西庄)は湯田の竜泉寺に寺領として寄進された。

豊臣秀吉による全国一斉に土地の測量が行われた、いわゆる「太閤検地(一五八八)」によって、「庄」「郷」と呼ばれていたのを改めて、郡の下に新しく「村」が置かれ、県内でも多くの村ができた。

慶長五年(一六〇〇)、関ヶ原の戦いで西軍に属した毛利氏は破れ、周防、長門の領主として入国したが、この時から吉敷(中尾を除く)は、毛利氏の家老福原氏の領地となった。

寛永二年(一六二五)毛利元包が移り、吉敷毛利として明治維新まで続いたが、その間、吉敷庄、吉木村、吉敷村と呼ばれた。

良城橋付近から見た吉敷川

吉敷ウォーク&山菜料理試食会

4月5日(火)、「吉敷ウォーク&山菜料理試食会」を開催し、18名が参加しました。吉敷ウォークでは、地域交流センターを出発し、吉敷川沿いを赤田神社へ向かって歩き、休憩をはさみながら吉敷大橋まで歩きました。

また、山菜料理試食会では、食生活改善推進員さんの協力のもと、ツクシやヨモギなど、春の到来をつげる野草を持ち寄り、天ぷらや煮物などに調理していただき、参加者に振舞いました。

天候にも恵まれ、道中の桜並木はとてもきれいでした。普段口にすることのできない旬の味覚に参加者全員が大満足していました。

吉敷地区戦没者追悼慰霊祭

4月19日(火)、自治会役員と遺族会長が天神山の英霊之碑に黙とうを捧げに行かれた後、地域交流センターを会場に戦没者追悼慰霊祭が挙行されました。

会場内の祭壇には英霊名簿が掲げられ、参列者は戦没者の御霊に黙とうを捧げました。岡本宣幸自治会長・小倉淑夫遺族会長の慰霊のことばの後、参列者による献花と遺族代表の齋藤比奈子氏による謝辞でしめやかに閉式となりました。

吉敷地区の戦没者は、明治維新の戦争から大東亜戦争までの140余年間で184柱に達します。今日の平和の礎には、戦争の犠牲となられた多くの尊い命があったことを決して忘れてはなりません。

入学式・入園式

今年度は、4月8日(金)には鴻南中学校の、4月11日(月)には良城小学校の入学式が、また、4月12日(火)には吉敷幼稚園の入園式が行われました。葉桜のもとで生徒や園児達も元気いっぱいでした。

引き続き、地域の皆様の見守りをよろしくお願いします。

ご入学・ご入園おめでとうございます！

鴻南中学校	入学者数	267名
良城小学校	入学者数	124名
吉敷幼稚園	入園児数	34名

第45回吉敷地区大運動会 雨天のため中止

4月17日(日)に開催を予定していた運動会ですが、不安定な天候や熊本地方を襲った地震等を総合的に考慮し、運動会実行委員会の判断により、やむなく中止となりました。

出場を予定されていた選手の皆さん、選手選考に奔走された各町内の体育委員の皆さん、年始めから企画運営に携わられた運動会実行委員会の皆さん、また、学校施設利用団体、及び体育振興会の皆さん、本当にお疲れ様でした。

来年の運動会開催に向けて、吉敷一丸となってがんばりましょう！

一昨年の様子

シリーズ 偉人 IJIN I

成瀬仁蔵の真価ここにあり

茶の間の人気を呼んだNHKテレビの朝ドラ「あさが来た」のおかげで、普段は吉敷赤田の国道から奥まった閑静な成瀬仁蔵生誕の地に、県内外から観光客がぐっと増えて来たという。嬉しい限りである。そこで、ドラマでは部分的、断片的にしか放映されなかった成瀬仁蔵の卓越した人物像と比類なき偉業を改めて三つに要約してみよう。

第一は、申すまでもなく、封建的な厳しい家父長制下の明治期「国家百年の大計は教育にあり」との信念で、日本の家庭改革の要となる婦人(以下女性)を「人間として、女性として、国民として」の教育理念に立ち、日本初の女子高等教育機関「日本女子大学校」を創立した。その上で、二十世紀は女性の世紀であると喝破し、女性の地位向上と社会進出を大胆かつ果敢に推し進めた。大隈重信、新島譲と並び、日本の三大教育者と言われた所以である(戦乱の二十世紀を経て二十一世紀の今日、日本では成瀬の思想と予言が現実化しつつある)。

第二は、第二次世界大戦の前夜、成瀬はドイツの軍国主義、権力主義、選民主義(ドイツ人は神の選民)を痛烈に批判し、その敗戦を予告し、真の平和は「帰一思想」から実現されるものと強く主張した。すなわち、世界の様々な宗教や思想や道徳の研究と相互理解・交流・調和を図り、協同して世界の平和と文明の将来に寄与して行こうという運動で、成瀬は発起人として、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツを歴訪し、各界の賛同を経てこれを広めた。同時に、日本はイギリスと同じく立派な「立憲君主国」であり、自由と民主主義を国是としているので、各国と協同しなければならないと力説した(戦後日本は、唯一の原爆被爆国として、成瀬の主張を基調にした自由と民主主義、平和主義を貫き、国連を主な舞台に世界に向けて強いインパクトを与えている)。

第三は、確固とした人生観、死生観である。成瀬は幼少期から、儒教、仏教、キリスト教(プロテスタント)を経て、独自の宇宙観、神秘主義思想へと発展し開花した。

末期の肝臓ガンを宣告されてからは、大講堂で教職員、桜楓会員、学生・生徒らおよそ千三百人に対し、「我が継承者に告ぐ」と題し一時間二十分にわたる告別講演、教育三綱領(信念徹底、自発創生、共同奉仕)の揮毫、死の前日には、ベッドに横たわったまま、義弟から依頼された揮毫(徳不孤必有隣(徳は孤ならず、必ず隣有り) 三月三日 為中島昌子(中島昌子の為に) 泉山)など、生死を超越した「永劫に生く」信念の境地に達した。

最後は「全く安心だ」「すべて満足だ」の言葉を残し、大正八年三月四日、朝八時二十分、眠るがごとく六十年七か月の生涯を閉じた(最近の流行語で言えば、お見事な「終活」であろう)。

(吉敷赤田 平和生 著)

民生児童委員協議会からのお知らせ

回覧板手渡し・声かけ運動の積極的推進

「あいさつ」運動が地元の良城小学校で活発だ。朝、地区の交差点立哨は沢山の小さな児童の彼等一人一人から元気を頂ける宝石のようなチャンスなのだ。本当に心温まる一瞬でもある。頑張るんだ!がんばろう!と意欲が自然と湧いてくる。皆で行うこんな細やかな地域の絆が、明るく、元気にする礎になるんだ。

(民生委員N・U)

地域交流センター職員退任・新任のごあいさつ

【退任】上の写真

行政窓口担当 廣政 恭子(市民課へ)

5年間、地域の皆様には、窓口等でお会いしたときに、いつも優しく声をかけてくださり感謝しております。

地域担当 山根 達宏(上下水道局 政策管理室へ)

3年間、地域行事を通じて、吉敷の皆様の温かさを感じました。この経験を生かして、吉敷の発展に貢献できるよう、今後も努力してまいります。

【新任】下の写真の前列(右、中央)

行政窓口担当 藤本 文恵 (水道整備課から)

吉敷地区の皆様のお役に立てるように頑張ります。

地域担当 松永 浩作(資産税課から)

早く吉敷の方々に顔と名前を覚えていただけるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

よしきで輝く

ヨガ体操

DATA

【開催日】毎週火曜日 19時30分～21時30分
【開催場所】地域交流センター　和室
【会員数】10名

地域交流センター登録団体を紹介するコーナー「よしきで輝く」の第2弾となる今回は、地域交流センターの建物が現在の場所に完成した年に結成された、今年で結成14年になるヨガ体操です。

会員は10名ほどですが、30代から70代まで、幅広い年代の方が明るく楽しく活動されています。活動内容は、ヨガの基本形はもちろん、ダンベルやバランスボールなど、器具を使いながらの体操も行われるということで、ヨガに馴染みのない人や、普段運動をほとんどしないという人でも気軽に楽しめるという特徴があります。

会員の方にヨガ体操を始めてよかったことについてインタビューしてみると、「ヨガ体操を始めてから、体脂肪が5%落ちた」「家族から、スタイルがよくなったね、と褒めてもらえた」「日常生活においても筋力がついたと感じるようになった」など、健康面で効果があったという声が多く聞かれました。

また、「ヨガ体操を通じて吉敷地区の友達ができた」「新しい趣味を見つけることができた」と、仲間づくりや生涯学習としての場にもなっているようでした。

ヨガ体操では、新しい会員を大募集しています。仕事終わりの運動不足解消に、また、仲間づくりの一環として、まずは見学してみませんか？年齢や性別に関係なくどなたでも大歓迎ですので、興味のある方は、開催日に直接地域交流センター和室にお越しになるか、または、地域交流センターまでお問い合わせください。

ヨガ体操の様子

かけはし

「ヨガ」

私の健康法はヨガです。血流がよくなり体のコリがほぐれてリラックスできます。ヨガには色々ありますが、ルーシーダットンというタイ式ヨガが自分には合っていると感じました。無理しすぎずに自分が心地よいと感じる範囲でポーズをとります。自己整体と言われているのもうなずけます。

新年度より「ふるさとだより　よしき」は住民の手で製作するというスローガンのもと紙面一新しました。読んでもらえる広報を目指すのは勿論のことです。読んでもらうことで地域が活性化する。これが最終目標です。そうなっていけるよう体と心を柔軟にして取り組んで行きます。

学ぶの語源は「まねぶ」だそうです。良いと思ったものは取り入れて、ふるさとだよりよしきは進化していきます。その結果、紙面とウェブのクロスメディアで展開されることとなりました。どうなっていくのか私もワクワクしています。アナログの保存性、モバイルの即時性でより便利に身近になっていく予定です。

新しいふるさとだよりよしきにご期待ください。

広報委員　村上　孝恵

[発行・編集]
吉敷地区広報委員会（〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号）
☎083-922-3344 吉敷地区地域づくり協議会
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター（行政窓口担当）
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター（地域担当）

吉敷地区地域づくり協議会 ウェブサイト
http://www.yoshikibito.com/
吉敷地区地域づくり協議会　検索